

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05245	多和地区住民	地域の拠点として安心して医療サービスを受けることができる診療所とする						診療人員は増加しているが、収入(診療報酬)は減少している。地域の対象者に対して、診療所の現状等を踏まえて協議していくほか、建物の老朽化についても、今後の方向性を考えていく必要がある。	診療所施設の老朽化も進んでいるものの、へき地医療としての存続を地域の住民とともに考えていきたい。	継続する
事務事業名	多和診療所受診者数	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
		人	1,100	1,031	計画	実績				
					総コスト	13,690 13,631				
					直接事業費	12,300 11,046				
					人件費	1,390 2,585				
所管課					特定財源	7,560 7,087				
国保・健康課					一般財源	6,130 6,544				
数値化できない成果	地域医療サービス									
05326	病院職員	質の高い医療とサービスを利用者に提供する。						平成19年5月9日付けで、病院機能評価受審に係る中間報告があった。審査結果(中間報告)は改善要望事項としては、次の3点の指摘があり認定保留となったので留意事項を改善したうえで再審査請求(平成19年度)を行い認定証を受ける。また、引き続き再受審に備え一層医療の質の向上を患者様へのサービスの充実に取組み、市民に信頼される病院づくりに努める。(改善要望事項) 感染性廃棄物の管理 病棟のリネン庫の清潔管理 作業療法収益金の管理	-	継続する
事務事業名	機能評価受審	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				
		評価項目件数(5段階評価 3以上)	%	-	96.0	計画	実績			
						総コスト	3,331 3,331			
						直接事業費	2,100 2,100			
						人件費	1,231 1,231			
所管課						特定財源	3,331 3,331			
市民病院事務部総務課						一般財源	0 0			
数値化できない成果										
05327	市民	病院の情報を共有化する。						市民病院ホームページのリニューアルを目標に更新作業に取り組んできたが、診療部門の原稿が集まらず一部、既存の内容をそのまま載せた。今後の方針として、診療部門紹介の内容も随時更新していくことと、タイムリーな情報を載せる。	-	継続する
事業名	広報・啓発事業	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				
		ホームページへのアクセス数	数	41,000	20,570	計画	実績			
		ホームページの更新回数	回	-	8	総コスト	6,209 5,360			
						直接事業費	2,124 106			
						人件費	4,085 5,254			
所管課						特定財源	6,209 5,360			
市民病院事務部総務課						一般財源	0 0			
数値化できない成果										
05329	病院職員	適正な医療提供を図りつつ、老朽化した既存施設設備を最小限の経費にて維持・管理する。						当院での冷暖房供給におけるほぼ大半がボイラー設備に頼っており、そのエネルギー源が重油である。平成17年度についても、当該設備管理職員の労働条件や設備自体の運転許容量を考慮しつつ、夜間等における運転調整を行ってきたものの、平成18年度については、例年にならぬ猛暑から、さらに患者ニーズに対応すべく、運転時間等の延長を実施した関係から重油の使用量が増大する結果となった。同時に原油の高騰から経費についてはダブルパンチとなって経常収支にもはね返り、今後の療養環境向上に対する大きな課題となった。	-	継続する
事業名	市民病院維持管理	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				
		附帯設備保守管理委託料	千円	8,014	8,014	計画	実績			
		什器備品保守管理委託料	千円	3,953	3,953	総コスト	87,329 99,870			
		環境衛生維持管理等委託料	千円	11,625	11,499	直接事業費	77,635 82,379			
		A重油使用量	kg	365,664	416,542	人件費	9,694 17,491			
所管課		電気使用量	kWh	2,520,000	2,398,396	特定財源	87,329 99,870			
市民病院事務部総務課						一般財源	0 0			
数値化できない成果										
05330	市民病院を受診する患者	病院従事職員における質の向上を確保することで、さらに質の高い医療とサービスを患者様に提供する。						各部毎の研修会は多く開催しているが、全体研修を増やして職員全員が意見交換できる機会を広げる。	-	継続する
事業名	人事管理	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)				
		職員研修の実施	回	2	2	計画	実績			
						総コスト	10,631 8,071			
						直接事業費	0 0			
						人件費	10,631 8,071			
所管課						特定財源	10,631 8,071			
市民病院事務部総務課						一般財源	0 0			
数値化できない成果										

資料2 事務事業評価(自己評価)結果

事務事業コード	事務事業の対象	事務事業の意図						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
05331	病院職員	医薬品・医療材料の適正な使用と購入費の低減化により経営体質の強化を図る。						診療材料については、医薬品に比べ、比較的製品の変更等に対応しやすいものの、その性質上、商品の選定には専門性と幅広い知識を有することは言うまでもない。現状、診療材料においては院内職員から構成される診療材料検討委員会が、医薬品については薬事委員会にてその調査・検討がなされているが、委員はもとより職員における資質の向上を図ることが重要な課題となる。	-	継続する
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)					
費用管理	医薬品年間死蔵額	円	150,000	433,683	計画	実績				
	後発医薬品採用件数	件	65	63	総コスト	6,225 668,874				
	医療材料変更品目数	品目	80	58	直接事業費	0 665,251				
所管課	類似医療材料統一件数	件	8	7	人件費	6,225 3,623				
市民病院事務部 総務課	数値化できない成果				特定財源	6,225 668,874	一般財源	0 0		
07016	病院職員	適正かつ効率的な会計処理により健全な病院運営を推進する。						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		指標名に係る目標値が0となるよう努める。システムを有効活用して、合理的な会計処理の構築を行う。	-	継続する	
会計管理	例月出納検査時伝票内容指摘	件数	-	276	計画	実績				
					総コスト	- 5,148				
					直接事業費	- 2,250				
所管課					人件費	- 2,898				
市民病院事務部 総務課	数値化できない成果				特定財源	- 5,148				一般財源
05332	外来・入院患者及び家族等	来院者にわかりやすい案内。公費負担医療に関する内容を適切かつ正確に提供。未収金を把握し、滞納防止を実施。依頼者に対する迅速な文書提供。						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		未収金対策強化期間の回数や時期を見直し、訪問による徴収計画を立て実施していく必要があると思われる。未納退院患者に対して、念書の内容を把握し期限内の支払い管理に努める。電話による督促の事後管理についても検討する必要がある。 保険確認に関しては、毎月いかにして保険証を窓口に表示してもらうかが課題であると考えられる。現在確認が一定期間できていない患者に対して再来受付機でチェックをかけ窓口で提示してもらうようにしているが、それでもなお持参して来られない方がいるのが現状である。そのつど前回の更新の有無を確認	未収金対策の最たるものは、未達の発生防止である。時間外診療時における未収金や休日に退院する患者の未収金発生率が高く、預り金の実施や休日における退院会計のありかたを見直し、未達の発生防止に努めること。また、電話、督促状から最終的措置まで含めたフローを定めて、医事課全職員で取り組むこと。	継続する	
窓口業務	未収金発生率の抑制	%	1	5	計画	実績				
					総コスト	27,211 34,634				
					直接事業費	11,047 11,117				
所管課					人件費	16,164 23,517				
市民病院事務部 医事課	数値化できない成果				特定財源	27,211 34,634				一般財源
05333	国保健康保険団体連合会、社会保険診療報酬支払基金等	適正な診療報酬明細書(レセプト)を作成し、各関係機関へ請求する。						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		従来のレセプト点検については、専門の委託業者が実施していましたが、今後は職員の知識向上を目的に医事課職員が実施するものとします。また、全ての点検を目視で行う方式から、レセプトチェックシステムにより一定の段階までコンピューターにより不備を発見できる体制に移行する予定とします。 これにより、単純な人為的ミスは削減するのですが、システムで検出できない項目については、職員の専門的知識による判断に委ねることになります。 したがって、課内勉強会を頻りに開催し最新情報の収集に努めること、担当制を導入し各科の特殊性を見極めること、担当科以外の科も含めた全ての請求内容を熟知すること等で、職員の能力向上を図ることが最重要課題となります。 また、依然として返戻の6割を占める「資格喪失後の受診(保険証の未補償)、防止等として、他病院における防止策の調査、張り紙や声かけによる窓口での啓蒙等がこれまで以上に必要となります。さらに、レセプトチェックシステム導入後の業務量、業務時間、査定率と共に、これまでの委託料と今後の時間外手当の相関関係を把握し、他病院と比較しながら「費用対効果」を検証することも今後の課題として挙げられます。	これまで業務委託していたレセプト点検を職員自ら行うことにより、医事課職員として本来持つべき知識を培い、プロフェッショナルとしてのプライドを取り戻すということが目的である。今後、医事課内の勉強会を含め、他職種を含めた勉強会を通じて、返戻や査定減に向けて全職員が取り組む風土を作り上げる努力をしていくこととする。	重点的に継続する	
診療報酬明細書(レセプト)作成業務	診療報酬明細書の返戻率	%	0.25	0.2	計画	実績				
	診療報酬明細書の査定率	%	0.25	0.25	総コスト	46,129 44,496				
					直接事業費	18,855 17,628				
所管課					人件費	27,274 26,868				
市民病院事務部 医事課	数値化できない成果				特定財源	46,129 44,496				一般財源
05334	退院患者、病院	病歴データの充実・活用。病歴データでどんな疾病で何日間入院しているのか、年齢別ではどうか、診療科別ではどうかの統計をとる。又、死亡退院の場合は何の疾患で死亡しているのかの統計をとる。						今後の課題	改善の方向性	事業実施の方向性
事業名	指標名	単位	計画(予測)	実績	コスト(千円)		現在、退院時要約に関する情報(入退院情報等)を全て手入力で行なっている為、入力間違いが発生し、入退院日などの確認に時間がかかるため、必要な情報が反映できるようシステム化が必要と思われる。	DPC(診断群分類包括評価)の導入を見据えたとき、的確なICD10コードによる病名付けは必須であり、その意味でも退院時要約の早期作成及び適正な作成は、導入準備に必要なデータ確保する重要な業務である。なお、退院時要約作成システムや医療情報データベースとしての病歴管理システムについては、退院時要約の標準化や作成業務の合理化及び病院の位置づけを知るためのアイテムとして、来年度の予算措置に向けて調査検討をする。	重点的に継続する	
病歴データ作成業務	退院時要約の作成率	%	100.0	100.0	計画	実績				
					総コスト	11,366 6,093				
					直接事業費	0 0				
所管課					人件費	11,366 6,093				
市民病院事務部 医事課	数値化できない成果				特定財源	11,366 6,093				一般財源